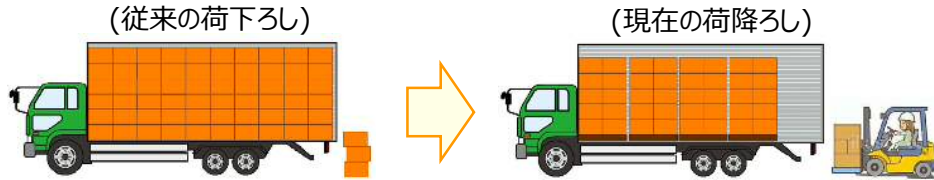


1 市場を取り巻く課題への対応

(1) 物流の2024年問題への対応（青果部）

① パレット化の一層の推進

従来は荷物をトラックに手積み、手降ろしていたものを、あらかじめパレット上に荷積みし、フォークリフトで荷下ろしすることで大幅に作業時間を短縮（2.0～3.0時間→約30分）



② システム化の推進、荷下ろし作業の人手確保

トラック到着予約システムの試験導入（11月～）に加え、卸売業者と荷役業者が作業チームを構成して売場内にてトラックの荷下ろし作業を行うなど、荷待ち・荷役作業時間の短縮化を積極的に推進

(2) 福島第一原発のALPS処理水放出への対応（水産物部）

当市場では放出直前の7月からホタテ中心に単価低下等の影響が見られる。また、冷蔵庫不足等により道産水産物への更なる影響も懸念



【市場での検討・実施事項】

① 道産水産物応援消費推進協議会の設置

情報共有と場内事業者の取組推進を目的とした協議会を設置(10/17設置)

② 応援消費推進広告の掲出

道と連携した応援消費を盛り上げる場内広告を掲出(12月年末商戦期から)

③ 道産水産物消費応援デー（仮称）の開催検討

令和5年度内を目途に仲卸店舗開放をメインとした応援消費イベント開催を検討

④ 札幌市の他部局との連携

学校給食へのホタテ提供事業、市内ホテル・旅館における道産水産物の消費拡大事業への協力

(3) 構内運搬車の電動化に向けた対応

運搬車の燃料である天然ガス用のタンク部品製造終了により、数年後には天然ガス車の新規調達が可能となることが判明。電動の構内運搬車に順次切り替え予定

(テスト車両)



【電動化に対応するための検討事項】

① 充電に必要な電気設備の増設

台数により必要な設備容量が異なるため、運搬車を使用している事業者と調整

② 運搬車に受電する設備（コンセント）

- ・どこで充電するのか
- ・充電に何時間必要か
- ・風雨にさらされない場所の選定

③ 設計に必要な台数や充電場所などの方向性を定め、

来年度からの設計に活かし、電動車を導入するまでに施設整備を行う

2 第2次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトの進捗について

	主な取組事項	令和5年度上期の主な取組み	令和5年度下期の主な取組み
I 運営編 (札幌市の取組み)	(1) 安定した収入の確保 ① 販売・集荷力の強化支援 ② 輸出促進支援 ③ 市場使用料の見直し ④ 市場内空室の解消 ⑤ 施設の有効活用 など	→ (①関連) 販路拡大支援事業として、5件の補助事業を採択。また、卸売業者と道内6か所の産地を訪問し、課題等を聴取 (②関連) 輸出ブランド化事業として2件の補助事業を採択	(①関連) 産地からの聴取結果を踏まえた安定集荷に資する補助事業を検討 (④関連) 増加傾向にある空室解消のため、場内、場外に向けた周知活動を強化
	(2) 継続的な支出の抑制 ① 計画的な施設の更新 ② 事務経費の削減 ③ 資源リサイクル施設のあり方検討	→ (①関連) 青果棟屋上防水改修など必要な改修事業を継続して推進。修繕も必要箇所を実施しつつ、費用抑制を意識して執行 (③関連) 資源リサイクル施設停止に向けた問題点の解決に向けた検討を継続	(①関連) 来年度の改修事業の確定。必要な予算の確保 (③関連) 上期の検討を継続
	(3) 社会的要請への対応 ① 危機管理体制の増強 ② 多様なエネルギー機器の導入支援 ③ 観光客の取組み ④ 食育ツアーの実施 など	→ (②関連) 構内運搬車の電動化に向けた場内事業者との検討を随時実施	(①関連) コロナ禍で中断していた場内防災訓練を実施 (②関連) 上期の検討を継続 (④関連) 小学生向け食育ツアー開催
II 活性化編 (市場関係事業者の取組み)	(1) 地域経済に貢献する市場 ① 市場事業者の取組み（共同・新規） ② 取引ルールの見直し ③ 食育事業及び消費拡大事業の推進 ④ SNSを活用した情報発信 ⑤ 各事業者の人材確保 ⑥ 事業所内保育所の整備検討 など	→ (①関連) 運営編(1)-①・②に同じ (③関連) 販促キャンペーン、食育セミナー、料理講習会など開催 (④関連) 初入荷など定期的な情報発信	(②関連) 業務の効率化、取引の公平性の観点を踏まえた取引ルールの見直しを水産物部で実施 (⑤関連) 人材確保講習会を実施 (⑥関連) 事業所内保育所は整備しないこととし、企業主導型保育所の情報を提供
	(2) 環境負荷の少ない市場 ① 物流の効率化 ② 施設等利用実態の整理と受益者負担の適正化 ③ 環境負荷軽減に向けた取組み など	→ (①関連) 左記トピックス(1)参照 (②・③関連) 青果生ごみ処理の有料化を開始し、受益者負担の適正化とごみ排出量の削減を推進	(③関連) 青果生ごみ処理の有料化による効果の検証
	(3) 安全・安心を守る市場 ① 市場内の人材育成 ② 各社のコンプラ意識の向上 ③ HACCP等に沿った衛生管理の徹底 ④ 食文化・食育の振興、市場魅力発信 ⑤ 統計情報等の適正な提供 など	→ (②関連) コンプライアンス推進ワーキンググループの定期開催化 (④関連) 市場協会YouTubeチャンネルにショート動画15本投稿 (④関連) せり動画を作成し、見学者通路に動画QRコードを掲示	(①・②関連) 食品偽装問題をテーマとした講習会を開催 (④関連) 目利き動画を作成し、市場協会YouTubeチャンネルに投稿